

士別市 わかりやすい 予算書

令和
8
年度

しべつ
羊のまち
*Shibetsu
City*



～ は じ め に ～

市民の皆さまには、日ごろから本市のまちづくりに深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本市では、市民自治と情報共有を基本原則とする「まちづくり基本条例」に基づき、対話を基本とした市民の参加・参画によって、様々な課題解決に向けて市民と議会、行政がそれぞれの役割を分担しながら「市民が主役」の笑顔あふれるまちづくりを進めています。

令和8年度は、「第2次士別市まちづくり総合計画」がスタートする年であり、物価高騰等に対応した厳しい予算編成となるなか、財政の持続可能性を確保しつつ、新しい価値の創造や未来を切り拓く挑戦的な取り組みを推進し、まちの魅力向上や将来への希望につなげる視点を持った予算編成を基本としています。

「わかりやすい予算書」は、まちづくりを進めるうえで必要不可欠な予算の基礎知識をできる限りわかりやすく理解していただくために作成しました。

市民の皆さまには、本書をご覧いただき、よりよいまちづくりに積極的にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。



士別市長 渡辺英次

～ 目 次 ～

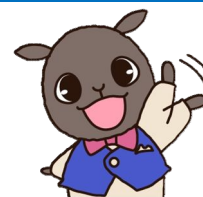
1. 予算って、なに？	1
2. 士別市の令和8年度予算	2
3. 士別市の収入(一般会計歳入)の概要	3
4. 市税の概要	4
5. 士別市の支出(一般会計歳出)の概要	5
6. 地方交付税の仕組み	6
7. 士別市の借金<市債>	7
8. 士別市の貯金<基金>	8
9. 士別市の家計簿	8
10. 令和8年度の主な事業	9

1 予算って、なに？



予算ってなに？

1年間の収入と支出を見積もることです。



市民のみなさんが納める税金は、国・道・市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われます。
国や地方自治体は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と、行政サービスに使う支出の金額を見積もり、事業の内容などを計画します。

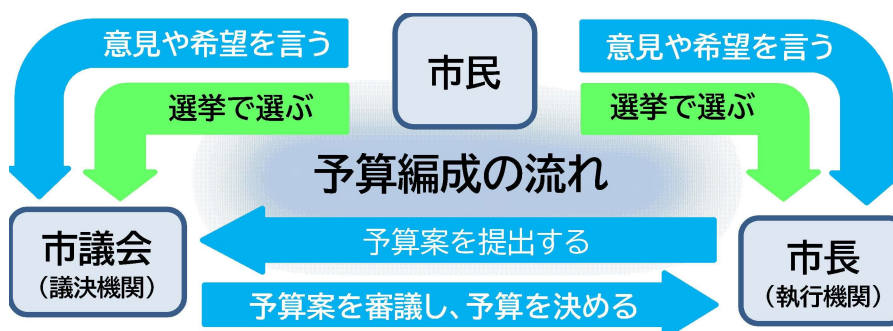


予算はどうやって決まるの？

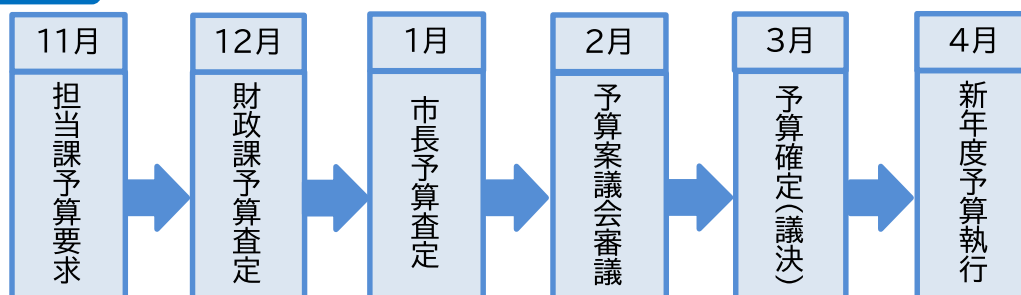
市長が予算案を作り、市議会で審議されて決まります。



予算は、市長が予算案を作成して、市議会の審議を経て、議決によって予算として成立します。
市役所の担当部署では、どのような行政サービスを行うべきかを計画し、どのくらいお金が必要なのかを検討します。
市長は、その結果に総合的な判断を加え予算案を作成し、市議会に提出します。
市議会では、市民の代表である市議会議員が様々な意見を出しあい、予算案を審議し、予算を決定します。



予算の流れ



2 士別市の令和8年度予算



士別市の予算は？

一般会計、特別会計、企業会計をあわせると、
319億7,401万円です。



令和8年度予算

一般会計	特別会計	企業会計
191億2,448万円	53億 1,063万円	75億3,890万円

一般会計

教育・福祉・道路整備など市民の暮らしや、まちづくりに必要な基本的な行政サービスを行う会計です。

特別会計

一般会計と区分して、事業の目的を限定し、特定の事業ごとに経理する会計です。

企業会計

市が民間企業と同じように事業を経営するもので、利用料金などの収入で運営している会計です。

会計名	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	191億2,448万円	173億2,592万円	17億9,856万円	10.4%
特別会計				
国民健康保険事業	19億9,446万円	19億2,530万円	6,916万円	3.6%
後期高齢者医療	4億9,721万円	4億3,965万円	5,756万円	13.1%
介護保険事業	28億1,896万円	25億5,141万円	2億6,755万円	10.5%
小計	53億1,063万円	49億1,636万円	3億9,427万円	8.0%
企業会計				
水道事業	10億3,003万円	10億1,440万円	1,563万円	1.5%
下水道事業	21億6,496万円	18億7,370万円	2億9,126万円	15.5%
病院事業	43億4,391万円	41億3,068万円	2億1,323万円	5.2%
小計	75億3,890万円	70億1,878万円	5億2,012万円	7.4%
合計	319億7,401万円	292億6,106万円	27億1,295万円	9.3%

当初予算のポイント

全会計の予算総額は**過去最大**となりました。

令和8年度は、「第2次士別市まちづくり総合計画」がスタートする年であり、物価高騰等に対応した
厳しい予算編成となるなか、財政の持続可能性を確保しつつ、**新しい価値の創造**や**未来を切り拓く**
挑戦的な取り組みを推進し、まちの魅力向上や将来への希望につなげる視点を持って編成しています。

総合計画
第2次まちづくり
基本目標

健やかに安心して暮らせるまちづくり

元気でいきがいの持てるまちづくり

未来を育む心豊かなまちづくり

地域の魅力でにぎわうまちづくり

持続可能で住みよいまちづくり

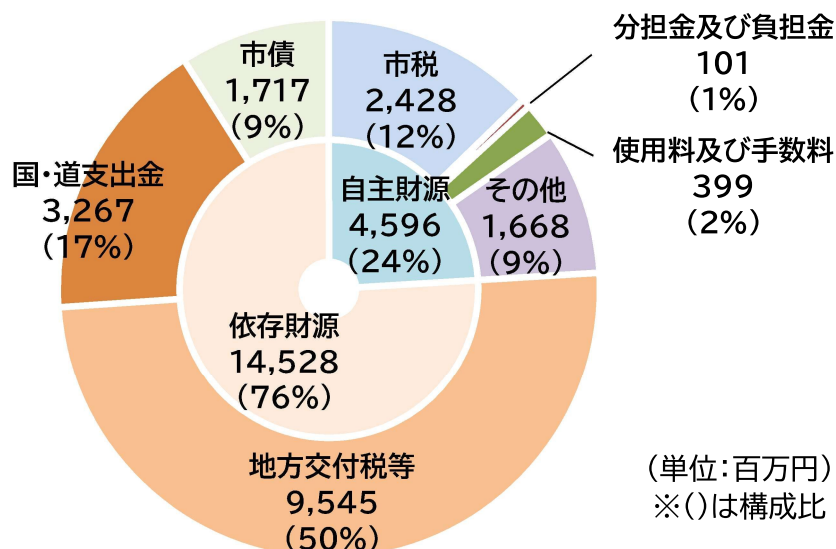
3

士別市の収入(一般会計歳入)の概要

市の歳入は、市民のみなさんが納める税金(市税)をはじめ、公共施設を利用する際の使用料・手数料など、自主的に確保する「**自主財源**」と、地方交付税や補助金など国や道に頼っている財源である「**依存財源**」に区分できます。

市の自主財源は、約**24%**で、残りは国、道からのお金や借入金に頼っている状況です。

自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされています。



項 目	説 明	予算額
自主財源(24%)	市が自主的に集める ことができる収入です。	45億9,601万円
市税	みなさんが市に納める税金です。	24億2,835万円
分担金及び負担金	事業に必要な経費の一部を受けるサービスの程度に応じて利用者が負担するお金です。	1億 123万円
使用料及び手数料	体育館やスキー場など市の施設の利用や住民票などの証明書を発行する際にかかるお金です。	3億9,877万円
繰入金	各種基金(市の貯金)を取り崩して使うお金です。	6億1,550万円
その他	寄附金や土地・建物の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度の繰越金などです。	10億5,216万円
依存財源(76%)	国や北海道から交付される 財源や市債のことです。	145億2,847万円
地方交付税	みなさんが国に納めた税金の一部です。都道府県、市町村の財政状況等に応じて配分されます。	86億1,386万円
各種交付金	地方譲与税や地方消費税交付金など、みなさんが国や北海道に納めたお金の一部です。	9億3,084万円
国・道支出金	みなさんが国や北海道に納めたお金の一部が、特定の目的を行うために市町村に配分されます。	32億6,687万円
市債	学校や道路の建設などをするために、国や銀行から借り入れるお金です。	17億1,690万円
計		191億2,448万円

4

市税の概要

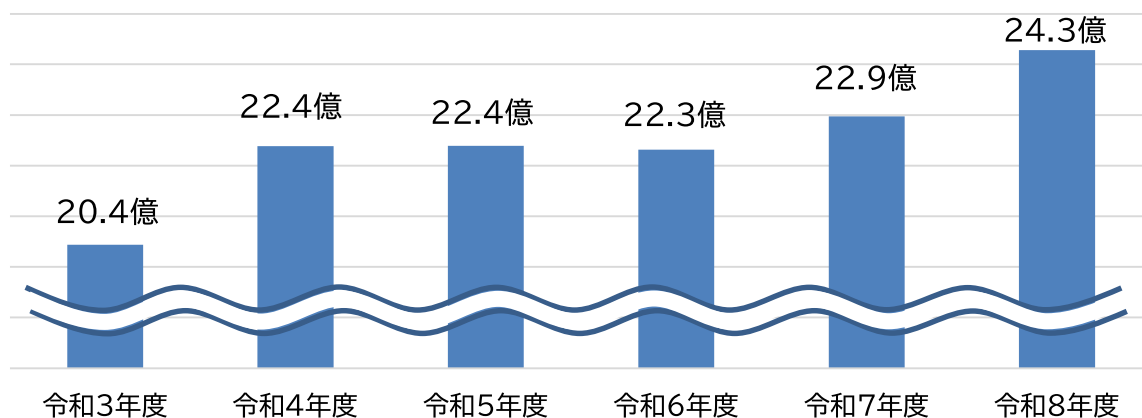


令和8年度の市税予算額は？

約24.3億円です。



市税予算額の推移



市税は何種類あるの？

8種類あり、収入総額のおよそ12%を占めています。



税目	説明	予算額
個人市民税	個人の前年(1月1日から12月31日)の所得に対して課税される税金	9億3,437万円
法人市民税	市内に事業所などがある会社の収益などに対して課税される税金	1億9,139万円
固定資産税	毎年1月1日現在、市内に土地や建物などを所有している方に対して課税される税金	9億8,579万円
軽自動車税	毎年4月1日現在、市内に定置場がある軽自動車や原動機付自転車などを持っている方などに対して課税される税金	5,878万円
市たばこ税	市内のたばこ販売店にたばこを売った製造業者に対して課税される税金	1億6,585万円
鉱産税	市内で鉱物を採取する事業者に対して課税される税金	38万円
都市計画税	毎年1月1日現在、市内の都市計画区域内に土地や建物などを所有している方に対して課税される税金	9,125万円
入湯税	鉱泉浴場の入湯客に対して課税される税金	54万円
合 計		24億2,835万円

5

士別市の支出(一般会計歳出)の概要



支出(歳出)の内訳は？

歳出の分類方法には、どのようにお金を使うのかの「性質別」と何のために使うのかの「目的別」の2種類があり、それぞれの金額は以下のとおりです。



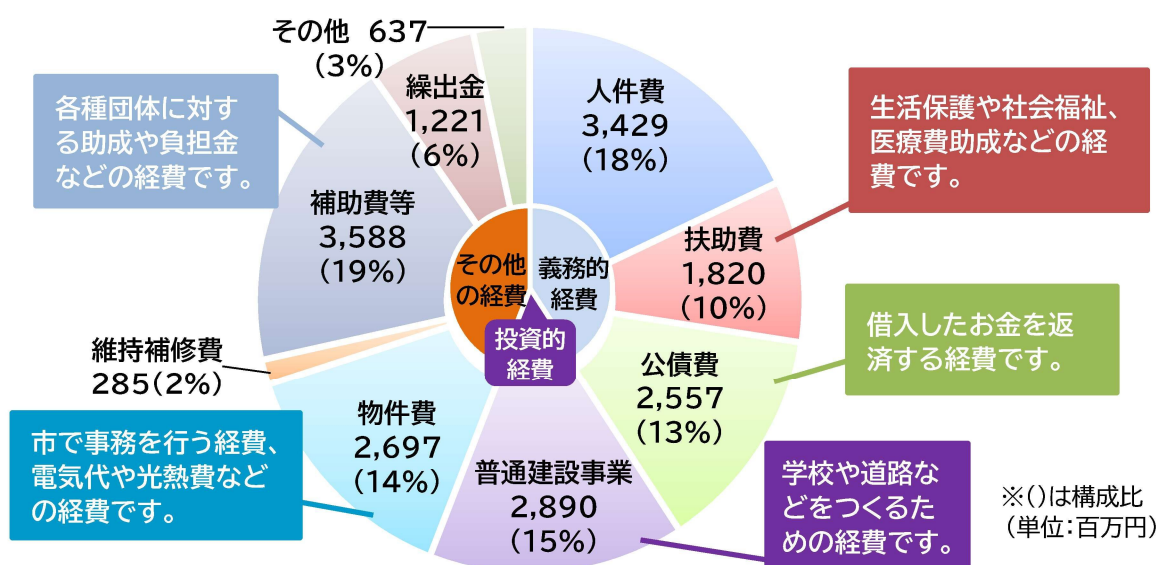
性質別経費

市の歳出は、借入金の償還などの必ず支払わなければならない経費「**義務的経費**」と道路や建物を建設するための経費「**投資的経費**」と「**その他の経費**」に区分できます。

義務的経費は、職員の**人件費**や生活保護などに使う**扶助費**、借金の返済である**公債費**があり、全体の約**45%**を占めています。

投資的経費は**道路や建物の建設**などに使うお金です。

その他の経費は、事務費である**物件費**や補助金などの**補助費等**があります。



目的別経費

目的別経費	説明	当初予算額
議会費	議会運営などの経費	1億 768万円
総務費	市役所の管理運営、広報、戸籍などの経費	13億6,603万円
民生費	子育て支援、高齢者、障がい者福祉などの経費	39億3,907万円
衛生費	医療、健康増進、ごみ処理などの経費	19億7,842万円
労働費	勤労者福祉対策などの経費	3,371万円
農林水産業費	農業振興や森林整備などの経費	19億1,048万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費	4億9,051万円
土木費	道路、河川、住宅、公園などの経費	15億 518万円
消防費	消防や防災などの経費	6億6,505万円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの経費	21億8,582万円
災害復旧費	大雨災害が起きた際の初期防災経費	100万円
公債費	借金の返済などの経費	25億6,281万円
職員費	職員の給料などの経費	23億6,872万円
予備費	緊急に必要とする場合に備えておく経費	1,000万円
合 計		191億2,448万円

6

地方交付税の仕組み

地方交付税とは



地方交付税って何？

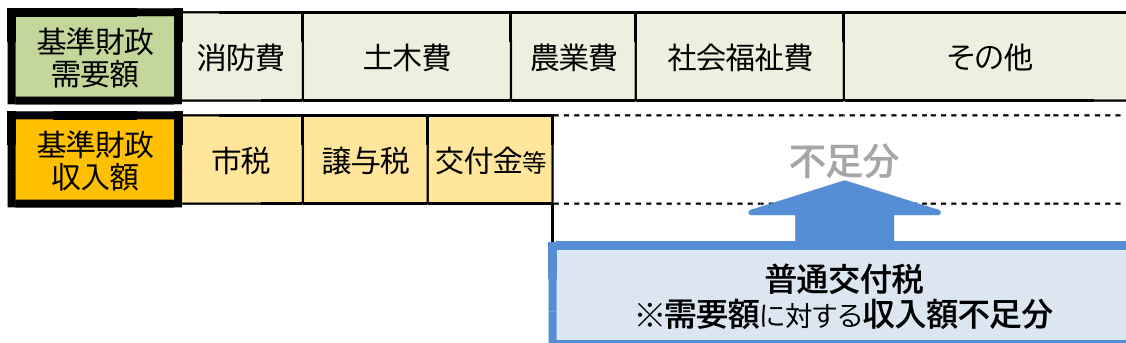
地方交付税は、全国どこに住んでいても一定水準の行政サービスを受けられるよう、必要となるお金を国が地方に保障する制度で、地方のお金が不足する場合に配られる「普通交付税」と、災害が発生した場合の復旧などに必要なお金として配られる「特別交付税」があります。

土別市は歳入に占める地方交付税の割合が約45%となっており、収入の多くを地方交付税に頼る財政構造となっています。



～普通交付税の計算方法～

自治体ごとに、標準的な行政サービスに必要な支出額と標準的な収入額を算出し、その差額として普通交付税が算定されます。



地方交付税の財源はなに？



地方交付税の財源は以下のとおりです。
皆さんが納めた国税のうち、一定割合が交付税の財源となっています。



所得税の33.1%

1年間の個人の所得(収入から経費などを差し引いたもの)に対してかかる税金で、所得が多くなるほど税率が高くなります。

法人税の33.1%

法人(会社)の所得に対してかかる税金で、会社ごとに定める決算年度ごとに課税されます。

地方法人税の全額

法人(会社)の所得に対してかかる税金で、会社ごとに定める決算年度ごとに課税されます。

酒税の50%

ビールや日本酒などのお酒にかかる税金で、税額は、お酒の種類やアルコールの度数によって細かく決められています。

消費税の19.5%

商品の販売やサービスの提供などに対してかかる税金で、負担するのは消費者(商品を買った人)などです。

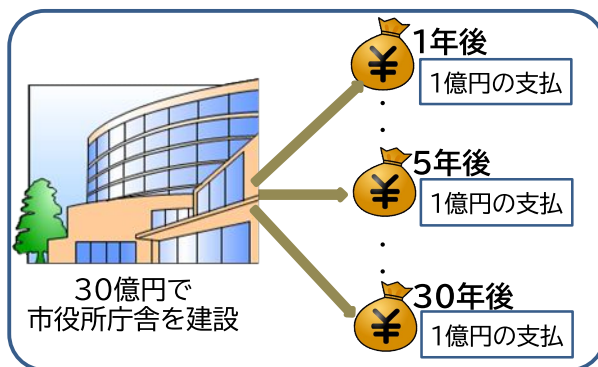
7 士別市の借金＜市債＞

市債の目的



なぜ、借金(市債)をするの？

市債には、毎年の財政負担の平準化を図ることと、公共施設は将来においても利用されることから、現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割があります。



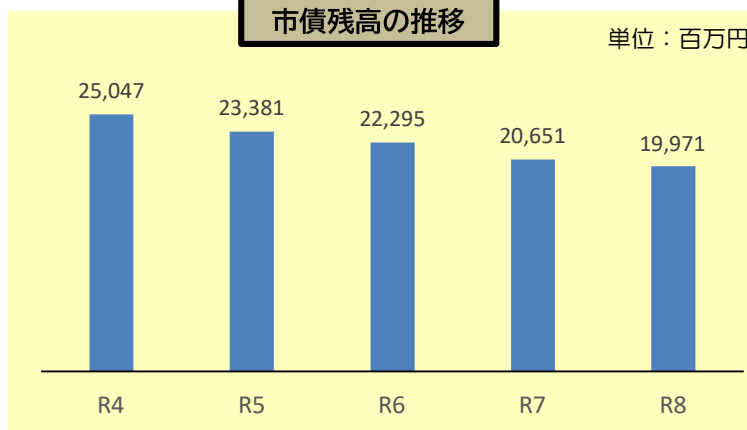
◆こんなに借金をして大丈夫？

市債の増加は**将来世代の負担増につながる**ため、後年度に過度な負担を残さないために、**市債の返済額に留意した財政運営**をする必要があります。

また、市債残高の**約6割**は、後年度の**交付税**によって措置され、**国からお金が入ってくる見込み**です。

市債残高の推移

単位：百万円



近年の大型建設事業

市役所庁舎



事業期間 : 平成29年度～令和3年度
事業費総額 : 約32億8,200万円
市債借入額 : 約31億9,200万円
交付税算入見込額: 約22億3,400万円

道の駅



事業期間 : 令和元年度～令和2年度
事業費総額 : 約4億5,800万円
市債借入額 : 約3億7,600万円
交付税算入見込額: 約2億6,300万円

ほくと子どもセンター



事業期間 : 平成28年度～平成30年度
事業費総額 : 約4億9,200万円
市債借入額 : 約3億8,700万円
交付税算入見込額: 約2億7,100万円

環境センター



事業期間 : 平成28年度～平成30年度
事業費総額 : 約51億6,500万円
市債借入額 : 約35億7,400万円
交付税算入見込額: 約24億9,400万円

8 士別市の貯金＜基金＞

基金の目的

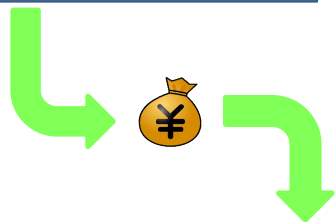


貯金(基金)はどのように使うの？

基金は、年度ごとの財政調整を行ったり、特定の目的の財源として利用しています。
それぞれの基金の目的に応じて、必要な時に取り崩して使います。
特定の目的のための基金には、ふるさと寄附を積み立てるものや、地域振興、スポーツ振興、文化振興のためのものなどがあります。

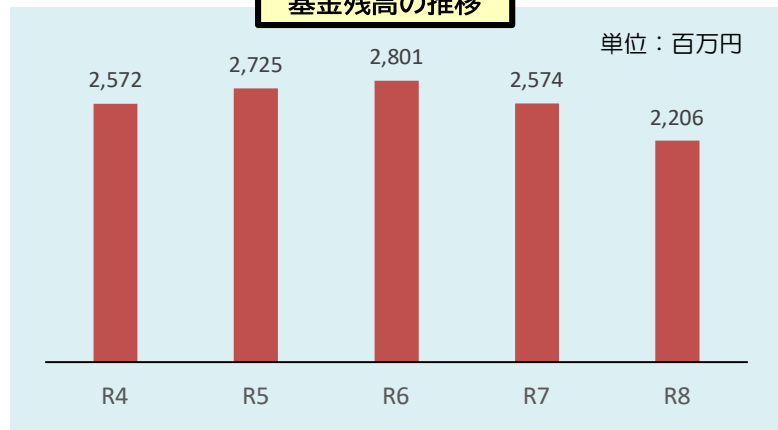


ふるさと寄附などを
目的に応じて積立



目的に応じた事業に
使うため取り崩し

基金残高の推移



9 士別市の家計簿

市の歳入・歳出は家計における収入・支出とは異なりますが、一般会計の収入を年収360万円(月収30万円)に換算した場合の家計簿を作成しました。

収入		支出	
収入内訳			
基本給料(市税)	62,665円	家族全員に関すること(総務費)	31,536円
諸手当(分担金など)	160,933円	子どもに関すること(民生費)	71,559円
医療費や家の改修などに		健康用品やごみ袋(衛生費)	34,604円
対する助成金(国・道支出金)	44,082円	家庭菜園(農林水産業費)	33,095円
ローンなどの借入金(市債)	19,668円	商店街のイベント(商工費)	8,539円
貯金の取り崩し(繰入金)	12,652円	家の修繕、庭の管理(土木費)	26,346円
合計	300,000円	災害の備え(消防費)	10,433円
		学費(教育費)	40,440円
		銀行ローンの返済(公債費)	40,202円
		その他	3,246円
		合計	300,000円
資産			
預貯金(基金)	415,219円		
借入金の残高(市債残高)	3,759,410円		

10 令和8年度の主な事業

まちづくり総合計画とは、行政運営の最上位計画であり、市の将来像とその実現のための目標などが示された、まちづくりの指針となるものです。

目標を達成するための5つの基本目標に沿って、令和8年度に実施する事業の一部をご紹介します。



第1章	健やかに安心して暮らせるまちづくり	施策	1～7
第2章	元気でいきがいの持てるまちづくり	施策	8～10
第3章	未来を育む心豊かなまちづくり	施策	11～13
第4章	地域の魅力でにぎわうまちづくり	施策	14～23
第5章	持続可能で住みよいまちづくり	施策	24～35

第1章 健やかに安心して暮らせるまちづくり

施策1 医療体制の充実



1. 開業医誘致助成事業 268万円

地域医療を確保するため、市内の開業医に対し助成をします。



2. 市立病院設備更新事業 1,171万円

訪問介護ステーションEHP冷房設置工事、鋼製地下タンク内面FRPライニング工事、患者呼出放送設備設置工事を行います。



3. 市立病院医療機器整備事業 6,227万円

自動散薬分包機、ジェット式洗浄機、生化学・免疫学装置更新、自動採血管準備装置などを整備します。



4. 市立病院備品整備事業 81万円

パソコン、ICカードリーダー本体(勤怠管理システム用)を整備します。



5. 病院医師・看護師修学資金貸付事業 1,276万円

卒業後に士別市立病院で勤務する意思がある方への修学資金の貸付を行うほか、看護師研究資金や医師就業支度金の貸付を行います。

施策2 地域福祉の推進



1. 社会福祉協議会補助事業 2,902万円

地域福祉の推進の拠点となる、士別市社会福祉協議会の事務局職員の人件費を補助します。



2. 権利擁護支援業務委託事業 848万円

権利擁護支援を必要とする方への相談支援体制の充実を図ります。



3. 障がい者施設等従事者確保緊急支援事業 325万円

障がい者施設等従事者を確保するため、時限的な対策として研修費補助や支度金補助、家賃支援補助など各種助成を行います。



4. 介護従事者新規就労定着支援事業 747万円

介護従事者の確保及び定着を図るため、事業所に対する助成と従事者に対する貸付及び助成を行います。



5. 介護従事者確保緊急支援事業 480万円

介護従事者を確保するため、時限的な対策として支度金補助、家賃支援補助、リスタート支援補助など各種助成を行います。

施策3

高齢者福祉の推進



1.敬老事業開催助成及び 敬老祝金支給事業 782万円

白寿及び米寿を迎える高齢者に祝金・祝品を贈呈するとともに、敬老事業を主催する自治会に対して助成金を交付します。



2.敬老バス乗車証交付事業 1,117万円

満70歳以上の申請者に敬老バス乗車証を交付することで、高齢者の外出支援を行い、健康で豊かな生活の充実を図ります。



3.除雪サービス事業 1,385万円

除雪の労力の確保が困難な高齢者等の在宅生活の安全確保のため、日常生活に必要な通路及び屋根・軒下の除雪を行います。



4.高齢者福祉・介護保険事業 計画策定事業【新規】 427万円

第10期士別高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたニーズを把握するため、アンケート調査を実施します。

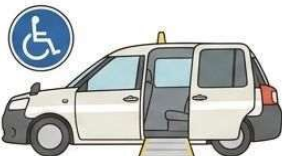


5.桜丘荘整備事業 1,705万円

養護老人ホーム桜丘荘の設備更新を行います。

施策4

障がい福祉の推進



1.心身障がい者ハイヤー料金等 助成事業 293万円

障がい者等の社会参加の促進と福祉の増進を図るため、ハイヤー運賃または自家用車の燃料費を助成します。



2.福祉の店障がい者就業補助 事業 95万円

障がい者の社会参加の促進を図るため、福祉の店シュベツ運営委員会に就業費の一部を助成します。



3.障がい者在宅サービス事業 59万円

在宅の障がい者が安心して暮らしができるよう、配食サービスや除雪サービスなど各種サービスを提供します。



4.重症心身障がい児等通園送迎 事業 63万円

在宅の重症心身障がい児及び障がい者が必要な療育を受けるため、北海道療育園へ通園する際の送迎業務を委託します。



5.障がい児通所支援事業【拡大】 150万円

「のぞみ園」及び放課後等デイサービスセンター「青空」以外の障がい児通所施設の利用料、教材費の助成など保護者の負担軽減を図ります。

施策5 保健・健康づくりの推進



1.朝日地域交流センター整備事業

604万円

老朽化した朝日山村研修施設の改修工事を行い、施設利用者の安全確保と快適性の向上を図ります。



2.母子保健事業

968万円

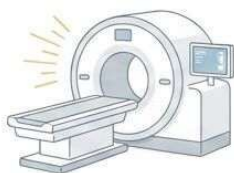
母子保健法等に基づき、各種母子健診及び妊娠中からの子育て支援を行い、母子の健康維持及び育児支援を図ります。



3.成人保健事業

149万円

生活習慣病の予防の普及啓発及び早期発見・早期治療を図るため、健康相談や訪問指導等を実施します。



4.がん検診事業【拡大】

1,798万円

がんの早期発見・早期治療を図るため、各種がん検診を実施します。新たに肺がん検診において低線量CT検査を導入します。



5.不妊・不育症治療費等助成事業

98万円

不妊治療及び不育症の治療を受けている夫婦に対し、治療費の一部を助成します。

施策6 安全・安心なまちづくり



1.安全安心まちづくり推進事業

56万円

警察や関係団体との連携のもと、啓発活動等を通して防犯意識の高揚を図ります。



2.交通安全対策推進事業

125万円

交通安全教育や啓発活動などを通して交通安全意識の高揚を図ります。

施策7 人権の尊重と男女共同参画



1.男女共同参画社会推進事業

21万円

男女共同参画推進条例や行動計画に基づき、男女共同参画やジェンダー平等の実現に向けた施策の推進を図ります。



3.消費生活推進事業

182万円

消費者被害を未然に防止するため、消費者教育、相談体制の維持及び消費者の意識高揚等を図ります。

第2章 元気でいきがいの持てるまちづくり

施策8 社会教育の充実



1. 放課後子ども教室推進事業 225万円

多寄地区の小学生の放課後における居場所づくりのため、地域の人や保護者等の参画のもと学習や遊び、文化活動などを通じて交流を図ります。



2. 社会教育推進事業【拡大】 168万円

社会教育委員のほか社会教育士の資質向上をめざすため新たに研修機会を設けるなど、各種事業を展開し社会教育を推進します。



3. 学校・家庭・地域連携協力推進事業 837万円

学校と家庭、地域の円滑な連携・協働を推進し、幅広い地域人材の参画により教育環境の充実と地域の教育力の向上を図ります。



4. 図書・資料整備事業 577万円

図書資料等の購入により、図書館機能の充実を図ります。



5. 生涯学習情報センター整備事業 105万円

非常灯や誘導灯本体、蓄電池・ランプの交換、階段非常灯ランプ及び照明器具の交換を行います。

施策9 文化・芸術の振興



1. 教育普及活動事業 76万円

収蔵資料や調査研究結果のほか、特別学芸員の人材を活用し、土別の歴史や自然をテーマとする講座等を実施します。



2. 文化芸術振興事業 【新規】 500万円

市民に優れた文化・芸術に触れる機会を提供するため、あさひサンライズホールを活用した鑑賞型事業や市民参加型事業を実施する団体に補助します。



3. 子ども芸術劇場事業 300万円

舞台芸術関係アーティストを直接学校等へ派遣し、鑑賞型事業や体験型ワークショップなどを展開します。



4. サンライズホール 整備事業 1億5,403万円

老朽化が進んでいるため、計画的に施設整備を実施し、市民の芸術文化の振興、教養の向上を図ります。

施策10 スポーツの振興



1. 総合型スポーツクラブ推進補助事業 256万円

市内4地区の運営委員会が実施する、地域の特色を生かしたスポーツクラブ事業を支援します。



2. スポーツイベント開催事業 1,560万円

年間を通じた各種スポーツイベントを開催し、スポーツの振興と交流人口の拡大を図ります。



3. 市民スポーツ振興事業 2,879万円

市民の健康増進とスポーツ活動の活性化を図るため、土別市スポーツ協会や各団体が実施する事業を支援します。



4. 体育施設整備事業 7,111万円

体育施設の修繕や備品の整備などを行い、安全で快適なスポーツ環境を確保します。



5. 陸上競技場整備事業 3億8,466万円

経年劣化に伴い施設の全体改修を行うとともに、公認陸上競技場に必要の器具を更新します。

第3章 未来を育む心豊かなまちづくり

施策11 こども・子育て支援の充実



1. 児童福祉施設等環境整備事業 554万円

計画的に児童福祉施設を整備し、安全な保育環境の確保及び施設の長寿命化を図ります。



2. すくすく子育て支援事業 41万円

幼稚園及び認定こども園の職員を対象とした研修費及び児童を対象とする体験教室の経費を補助します。



3. 子どもの権利推進事業 48万円

子どもの権利に関する市民への啓発や子どもの権利侵害に関する相談体制の充実を図ります。



4. ひとり親家庭等児童入学資金支給事業 168万円

小学校、高校、大学・専門学校等に入学・進学する子を持つひとり親家庭等に入学支度資金を支給します。



5. 特別保育推進事業 63万円

保護者が就労等の理由で、市が指定する団体に特別保育を依頼した場合の保育料の一部を支援します。

施策12 学校教育の充実



1.遠距離等通学助成事業 5,852万円

遠距離通学や通学上の安全を確保する必要がある児童生徒の通学費補助を行い、父母負担の軽減を図ります。



2.情報通信教育推進事業 3,394万円

小中学校におけるコンピュータの整備・活用及び情報通信教育の推進を図るほか、義務教育学校開校に向けたシステム環境を構築します。



3.特別支援教育就学事業 4,295万円

教育的支援が必要な児童生徒の学習環境の充実を図るため支援員を配置します。また、特別支援学級に在籍する児童生徒等の就学に必要な援助を行います。



4.小学校整備事業 2億1,803万円

計画的に施設整備を実施し、安全な教育環境を確保し施設の長寿命化を図るほか、義務教育学校開校に向けた施設整備を実施します。



5.学校給食センター整備事業 4,088万円

安全な給食提供体制の確保と施設の長寿命化を図るほか、老朽化した備品を整備します。

施策13 高校教育の充実(東高校・翔雲高校)



1.高校魅力化支援事業 837万円

高校や地域と連携し、学校の魅力向上に向けた取り組みを行い、市内外へ魅力を発信します。また、部活動や探究学習、地域との連携・協働学習などを支援します。



2.高等学校バス通学補助事業 179万円

保護者の負担軽減を図るため、土別翔雲高校生の通学バス定期代を補助します。



3.高等学校整備事業 327万円

情報処理室機器や光回線機器、クロームブック、校務用パソコンなどの整備を行います。



4.対外活動奨励補助事業 17万円

全道・全国大会等に参加する生徒の対外活動を奨励するため、旅費の半額を助成します。



5.高校教育振興事業 418万円

土別東高校の教育環境を充実させるとともに、保護者の負担軽減を図ります。

第4章 地域の魅力でにぎわうまちづくり

施策14 農業の振興



1. 中山間地域等直接 支払交付金事業 2億1,658万円

急傾斜農用地をはじめ、市内全体の農業生産基盤の向上と農村集落が持つ多面的機能の保全を図るため、国の制度に基づき交付金を交付します。



2. 多面的機能支払交付金事業 2億2,515万円

多面的機能支払交付金制度を活用し、地域の集落組織の活動を支援することで、農地や施設等の保全を図ります。



3. 農業農村整備促進費 活用事業 1億3,680万円

道営農地整備事業の推進に向け、促進費活用型パワーアップ事業を活用し、農家の負担軽減を図ります。



4. 新基本計画実装・農業構造転換 支援事業【新規】 8億2,415万円

農業の構造転換に向け、地域農業を支える共同利用施設の再編・集約を促進し、生産体制の合理化を行うJA北ひびきを支援します。



5. めん羊振興事業 1,434万円

めん羊経営の安定化や担い手の育成、安定した羊肉生産体制強化に向けた基盤づくりを推進し、「羊のまち土別」のさらなる認知度向上を図ります。

施策15 林業の振興



1. 有害鳥獣被害防止対策事業【拡大】 2,196万円

駆除を行う担い手の確保・育成を図るとともに、エゾシカ駆除の委託やヒグマの緊急銃猟実施に必要な備品等を整備し、有害鳥獣の駆除対策を実施します。



2. 森林整備促進事業 3,930万円

森林整備を推進し、造林公共事業への上乗せ補助等、森林整備担い手対策、森林認証に係る助成を行います。



3. 豊かな森づくり推進事業 919万円

私有林等における植栽を推進し、森林資源の循環及び森林の多面的機能の発揮並びに地域の振興を図ります。



4. 森林環境保全整備事業 1,786万円

市有林の健全な維持造成を図り、森林資源の充実と山村地域の振興を図ります。

施策16 観光の振興



1.岩尾内観光施設整備事業

【新規】1,894万円

老朽化した岩尾内湖白樺キャンプ場管理棟の改修工事を行います。



2.観光イベント推進事業

620万円

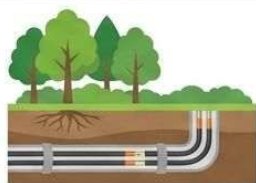
市民、観光客に賑わいの場を提供するため、年間を通じた観光イベントを各種団体が中心となって開催し、誘客の促進を図ります。



3.観光振興委託事業

570万円

観光振興事業等を「まちづくり士別株式会社」に委託し、集客力の向上によりさらなる地域経済の活性化を図ります。



4.羊と雲の丘観光施設整備事業

1,550万円

樹木に干渉している高圧ケーブルを埋設化することで、火災や停電のリスクを解消し、安定した施設運営の確保を図ります。



5.羊のまち士別まちなか賑わい創出事業【新規】

1,939万円

道の駅を活用し、年間を通じて中心市街地の賑わいを創出するとともに、魅力ある特産品や農産物などへの市内消費の意識醸成を図ります。

施策17 商業・工業の支援



1.地域循環型住宅リフォーム促進事業

992万円

地元建設業者において居住する住宅を改修した場合、工事費の一部を助成し、改修内容に応じてサフォークポイントを付与します。



2.地域循環型住まいづくり促進事業

957万円

地元建設業者において住宅を新築した場合、工事費の一部を助成し、ゼロカーボン対策等の取り組みに応じて補助金加算やサフォークポイントを付与します。



3.中小企業振興条例促進事業

2億6,890万円

中小企業の経営安定化等を図るため、士別市中小企業振興条例に基づき支援します。



4.中心市街地活性化事業

687万円

道の駅の供用にあたり、市民の休憩スペースやトイレ、チャレンジショップなど、公共的な役割を持った施設の維持管理費等の一部を負担します。

施策18 雇用・勤労者福祉の充実



1. 中小企業勤労者総合福祉推進事業

747万円

士別中小企業勤労者福祉協会が実施する共済・福利厚生等を円滑に推進するため、その運営を支援します。



2. 中小企業勤労者総合福祉対策事業

502万円

中小企業の相互扶助を基本とし、給付事業、福利厚生事業を行う士別中小企業勤労者福祉協会を支援します。



3. 地域雇用・人材確保促進事業

150万円

労働者不足、人材育成、能力開発などの課題に対応する各種研修会等を関係団体と連携して実施します。



4. 高齢者労働能力活用事業

1,160万円

高齢者の就業及び生きがい対策を推進する公益社団法人士別市シルバー人材センターに対し、運営費を助成します。

施策19 移住定住の促進と関係人口の創出



1. 移住定住促進事業

1,893万円

士別市移住定住交流促進協議会「Mazaru」との連携により、交流人口や関係人口の創出などを図りながら移住定住を推進します。



2. 地域おこし協力隊活動事業

7,459万円

都市部の若者等を協力隊員として受け入れ、まちづくり活動の展開とともに、隊員の定住・定着による地域の活性化を図ります。



3. 奨学金返還支援事業

409万円

若年層の地元への就職及び定着に向けて、大学等を卒業後に士別市に定住就業する方を対象に、在学中に貸与を受けていた奨学金の返還に要する経費を一部支援します。



4. 若者出会い創出事業

【新規】 30万円

若年層の出会いや交流の機会を創出するため、民間活力の活用による効果的な事業を推進します。

施策20 地域間交流の促進



1.国際交流・地域間 交流事業 252万円

姉妹都市ゴールバーン・マルワリー市や友好都市みよし市との交流をはじめとする国際交流・地域間交流を推進します。



2.人材育成・文化 振興事業 223万円

まちづくりの主体となる人材育成に向け、市民や地域グループが自主的に取り組む文化・学習や交流事業を支援します。



3.みよし市・川内村 小学生交流事業

12万円

愛知県みよし市の子どもたちとオンライン交流を行うほか、福島県川内村の子どもたちを受け入れて「土別にコラッセ交流学校」を実施します。

施策21 合宿の充実



1.スポーツ合宿推進事業

1,021万円

様々な種目の合宿を受け入れ、「スポーツ合宿の里づくり」の推進と新規団体の誘致を図るとともに、全国に向けた合宿の里土別の情報発信を行います。

施策22 企業誘致の強化促進



1.企業誘致・立地企業連携事業

88万円

自動車試験研究メーカーをはじめとする立地企業と市民との交流により企業理解を促進するとともに、本市の地域特性や特定遊休財産などを活用した企業誘致を促進します。

施策23 市民活動・地域づくりへの支援



1.「共創のまちづくり」推進事業

129万円

市民団体やグループ等による地域の課題解決に向けた取り組みや公益的な活動を支援し、「共創のまちづくり」を推進します。



2.地域環境整備事業

300万円

上土別、多寄、温根別地区の環境整備を図ります。



3.温根別地域交流施設整備事業【新規】

1,534万円

温根別小学校閉校後の利活用を図るため、温根別出張所、温根別公民館及び温根別交流センターの機能を集約のうえ、旧校舎を改修整備します。



4.コミュニティセンター整備事業

100万円

地域住民の福祉、文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るため、地域会館又は集会所等を整備する地域住民団体に対して補助します。



5.自治会活動補助事業

1,791万円

自治会活動に対して、活動費及び防犯街灯新設・取替の一部を助成します。

第5章 持続可能で住みよいまちづくり

施策24 持続可能な公共交通

1.地域公共交通総合対策事業 506万円



士別市地域公共交通計画に基づき、効率的で利便性の高い公共交通を持続するための取り組みを進めます。

2.コミュニティバス運行事業 911万円



朝日地区における地域住民の生活交通を確保するため、コミュニティバスを運行します。

施策25 環境保全とゼロカーボン



1.ゼロカーボン推進事業

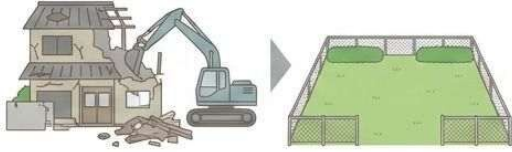
159万円

地球温暖化対策実行計画に基づき、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを進めます。

施策26 都市景観の形成

1. 普通財産環境整備事業

8,665万円



活用が見込めない普通財産の維持コスト削減と周辺環境の悪化防止のため、公共施設マネジメント基本計画に基づき、計画的な解体撤去を推進します。

2. 花いっぱい運動推進事業

217万円



花いっぱい運動を推進するため、自治会等に対して花苗の供給等を行います。

施策27 公園緑地の整備



1. 公園整備事業

1,830万円

都市公園遊具点検業務委託、公園花壇樹木植栽、公園施設長寿命化工事、公園トイレ洋式化工事などを行います。

施策28 治水対策の推進



1. 普通河川整備事業

2,200万円

河川整備及び河川維持を行い、適正な河川環境の保全を図ります。

施策29**道路環境の整備****1.除雪機械整備事業****6,956万円**

朝日地区において安全な生活路線を確保するため、老朽化が著しい除雪機械を更新します。

**2.市道整備(単独)事業****2億2,954万円**

市道の改良及び舗装、舗装路面調整、歩道整備等を行い、安全で快適な道路環境の整備を推進します。

**3.橋梁整備(補助)事業****1億2,973万円**

橋梁長寿命化近接目視点検、橋梁長寿命化工事、PCB処分などを行い、橋梁の安全確保と長寿命化を図ります。

**4.道路側溝・環境整備事業****1,220万円**

地域環境整備及び市道道路側溝環境整備、緑石更新(市内一円)を行います。

**5.街路・公園灯LED化事業****3,390万円**

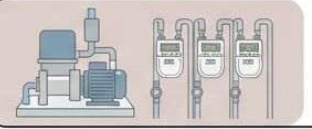
街路及び公園灯のLED化工事を実施することで、災害発生時における電力供給の安定確保を図るほか、温室効果ガス排出量を削減し、ゼロカーボン社会の実現をめざします。

施策30**住環境の整備****1.空き家対策事業****57万円**

特定空家等の発生抑制及び空き家等の利活用など総合的な対策を推進します。また、空き家・空き地バンクHP管理業務を委託し、利用者へのサービスの充実を図ります。

**2.空家住宅内通路確保事業****101万円**

朝日地区のもみじ、曙、一二三団地の空家部分について、安全な通路確保を図るため、通路の除雪を行います。

**3.住宅環境整備事業****1,075万円**

桜丘団地C棟ブースターポンプ更新、北部団地B棟灯油メーター更新を行います。

**4.公営住宅整備事業****2,550万円**

老朽化した市営住宅の用途廃止に伴う移転を計画的に実施し、市営住宅入居者の居住水準の向上を図ります。

**5.公営住宅ストック総合改善事業****6,218万円**

「士別市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、ストック改善事業を実施します。

施策31 上下水道の安定供給と下水道の管理運営



1. 東山浄水場改良事業【新規】

4,394万円

東山浄水場の池棟天井改修工事、ポンプ購入を行います。



2. 配水施設改良事業

3,910万円

配水管布設替工事、配水管敷設替工事等を行い、安定した給水を確保します。



3. 旧簡水地区水道施設整備事業

5,660万円

北流量計室の電気計装設備更新、内大部浄水場の着水電動弁や着水流量計更新等を行います。



4. 公共下水道資本整備事業

5億1,296万円

土別下水処理場の管路施設長寿命化、合流改善事業などを実施し、公衆衛生の向上や水質の保全を図ります。



5. 特定環境保全公共下水道資本整備事業

1億7,420万円

朝日浄化センターの改築、設備更新などを実施し、公衆衛生の向上や水質の保全を図ります。

施策32 ごみの減量化・リサイクルの推進



1. し尿処理施設整備事業

8,500万円

士別市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿処理施設の機械設備を更新します。



2. バイオマス資源堆肥化施設整備事業

317万円

老朽化した堆肥化施設設備を計画的に更新し、安定した堆肥化能力の確保と業務の効率化を図ります。

施策33 防災対策



1. 防災対策推進事業【拡大】

2,027万円

災害時に備えた備蓄品や防災資機材の整備、共助体制の確立に向けた避難共助計画の策定を進めます。ハザードマップ更新に向け、避難情報等のデータ分析を行います。

施策34 消防・救急体制の充実



1.上水道消火栓整備事業

1,500万円

消防水利(消火栓)の整備を行います。



2.消防資機材整備事業

(災害対応型ドローン導入)【新規】

2,387万円

災害対応型ドローンの導入など、事務用パソコンを含めた消防資機材の整備を行います。

施策35 ICT・DX・情報通信の充実



1.デジタルトランスフォーメーション推進事業

【拡大】 3,585万円

デジタル技術の活用により、市民の利便性の向上や業務の効率化を図り、限られた人的資源の中で持続可能な行政運営の実現をめざします。



2.BPR推進事業

【新規】 12万円

職員数の減少を見据えた業務のBPRを進め、持続可能で新たな視点を持った窓口サービスの再構築をめざします。



3.テレビ中継局及び共同受信施設等整備事業

【新規】 6,098万円

地デジ化で導入した放送機等を整備し、難視聴の解消と安定的な放送を確保します。



令和8年度 士別市 わかりやすい予算書

- 発行年月 令和8(2026)年 7 月
 - 発行・編集 士別市総務部財政課
〒095-8686 士別市東 6 条 4 丁目 1 番地
電話 0165(26)7788 FAX 0165(22)1934
メール zaiseika@city.shibetsu.lg.jp
 - 士別市ホームページ <https://www.city.shibetsu.lg.jp>
-